

八尾市総合計画審議会 第4回評価部会
議事録

日 時：令和6年3月26日（火）18時30分～20時40分

場 所：八尾市役所本館 6階 大会議室

出席者：田中部会長、清水副部会長、和泉委員（Web参加）、和田委員（Web参加）、川野（昭）委員、佐野委員、重田委員、田上委員、宮本委員
事務局

欠席者：柿本委員

1. 開会

事務局

ただいまより「八尾市総合計画審議会第4回評価部会」を開催させていただきます。
（資料確認）

以降の進行は田中部会長をお願いします。

田中部会長

皆さまこんばんは。本日も年度末のお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。
それでは次第に従って議事を進めていきたいと思います。

2. 八尾市第6次総合計画中間報告書（案）について

田中部会長

それでは次第2「八尾市第6次総合計画中間報告書（案）について」です。令和6年1月9日から3回の部会で34の施策について意見交換をしてきました。これまでにいただいた意見・提案を踏まえ、事務局が中間報告書（案）をまとめてくれましたので、本日はその確認と要検討の箇所について、変更が必要かどうかご意見をいただきたいと思います。

事務局

【資料1】「八尾市第6次総合計画中間報告書（案）」について説明

田中部会長

ありがとうございます。全体構成及び確認事項等について説明を受けました。まず、今の説明について、ご意見、ご質問はありますか。
（意見・質問なし）

3. 中間報告書（案）の審議

田中部会長

それでは審議を進めてまいります。まずは私から「はじめに」の部分で直してほしい部分を3点、指摘させていただきます。第2段落の一文が長く、3行目「～つづくことで、～」と5行目「～作り出すことで、～」と「ことで」が重複しているので、句読点などの修正をお願いします。

次に第3段落の3行目「12月」の前後の空白を詰められないか、調整をお願いします。同じく第3段落4～5行目「～が設置され、専門部会として「評価部会」を設置し、～」と「設置」の表現が続いているので、例えば後半を「評価部会を置き」などに表現を修正してください。

田中部会長

続いて、8頁以降の各施策の評価結果についてご意見をいただきます。施策の総合評価について、特に既存の指標だけでは評価が難しいとのご指摘があった施策については、総合評価を変更すべきかどうかについて議論を深めてまいります。その施策の審議となりましたら、私から指摘させていただきます。その他、評価部会であまりご意見が出なかった施策についても、後期基本計画への提案や追加すべき事項等ございましたら、ご意見ををお願いします。それでは施策1から始めてまいります。

＜施策1＞

－意見なし－

＜施策2＞

清水副部長

指標の達成率98.5%とかなり達成していると感じるが、それに対して総合評価「○」となっている。担当部局としての内部評価であることは承知しているが、他施策と比較すると「◎」でもよいのではないのでしょうか。

田中部会長

ご指摘の通り施策3では、指標の達成率97.5%で「◎」となっています。横並びで比較すると、内部評価であるとはいえ、このレンジ（範囲）なら「◎」といった基準を設定したうえで、あわせた方がよいかもしれません。概ね一次評価の現状にあわせて範囲を設定いただき、その説明を報告書の6ページから7ページに記載することとし、「◎」「○」「△」の見方としてはいかがでしょうか。

事務局

改めての確認となりますが、6ページに記載の通り、一次評価における評価手法としては、

「めざす暮らしの姿」に着実な成果を挙げているかどうかという判断で「○」としております。今回のご意見は、評価部会における議論の中で、二次評価の判断基準として指標の達成率にレンジ（範囲）を設け、一次評価から変更するということによろしいでしょうか。

田中部会長

それでは当部会の考えとして、二次評価に関する評価基準について説明を追加し、二次評価を変更するという修正を加えたいと思いますが、いかがでしょうか。

（各委員了承）

＜施策３＞

－意見なし－

＜施策４＞

－意見なし－

＜施策５＞

和田委員

先日２月２９日に私と和泉委員が属しております総合戦略部会が開催されましたが、中間報告書の３ページから４ページにかけて総合戦略部会の説明も記載いただいております。４ページに記載の各委員に参加いただき、施策５や施策６に関わる部分について、総合計画の中でも特に八尾市の強みである部分について、クリエイティブに、より八尾市の強みを活かしていこうという非常に活発な議論がなされました。

中間報告書の施策５についても、「今後検討すべき課題」において、総合戦略部会の内容もうまく取り込まれていると感じております。そこで、「戦略部会ではこうした議論がなされた」ということを、４２ページの「全般的提案事項」の後段に関連事項として記載してはいかがでしょうか。総合戦略部会では、プロモーション、外国人居住者、観光コンテンツや産業振興等について、総合戦略部会ならではの深い議論がありましたので、そのあたりのご意見を付記することをご提案します。

和泉委員

ご意見の通り、総合戦略部会では委員皆さまの積極的なご意見により、非常に深く、かつ枝葉の広がりがあるご提案がありました。可能であれば、付記についての提案に同意します。総合戦略部会における議論を示す場所があってもよいのではないのでしょうか。

和田委員

総合戦略部会として、しっかりした資料を作っていただいておりますが、中間報告書の３

ページや4ページに総合戦略部会に関わる委員のお名前なども記載がありますので、会議での提案事項として付記があってもよいと思います。

田中部会長

3ページの(3)①の説明文に、「この中間報告書は評価部会の審議経過をとりまとめたもの」と記載されています。総合戦略部会における議事の主なポイントを記載するというご提案について、事務局いかがでしょうか。

事務局

ご意見の通り、両部会における議論の中でリンクする取り組みがございます。3ページから4ページにかけてはいわゆる総合計画審議会全体について記載しておりますので、総合戦略部会についても記載させていただいております。そのエッセンスを追加することは可能と考えておりますので、その対応について部会長と相談させていただきたいと思います。

田中部会長

提案としては、3ページの(3)①の記載として、「この中間報告書は、評価部会における審議経過を取りまとめたものですが、総合戦略部会での質疑内容も深く関連しているところから、当該内容を最終付記します」といった内容を追記したうえで、42ページの全般的提案事項1～4の後に「*」で総合戦略部会の主な議論のポイントを箇条書きで整理してはいかがでしょうか。

事務局

ご提案いただきました方向で整理し、事務局において検討させていただきます。

和田委員

そういった方向性でご検討いただけますと理想的で嬉しく思います。

田中部会長

ポイントは評価部会と総合戦略部会がバラバラではないということを知ってもらうことが大切ですので、関連しているということがわかるようなれば良いと思います。事務局でのご検討をお願いいたします。

(各委員了承)

《施策6》

田中部会長

この施策は、施策指標で総合評価の判断ができるのかというご意見がありました。二次評

価にビックリマーク（以下、「(!) マーク」という。）が表示されているのはそのためです。

説明文にある通り、担当部局で施策指標を設定し令和5年度の実績見込から総合評価を判断されています。確かに達成率は100%で基準を超えているので、「◎」という評価自体は間違っていないかもしれませんが、そもそも設定した指標が不十分ではないかとの指摘があったということです。

和泉委員

前期基本計画については、指標達成率100%なので総合評価「◎」を認めるという考え方もあると思います。ただし、後期計画では文化財の活用に関する指標の設定について、検討いただきたいと思います。

また、一次評価の総括5行目において、「整備基本計画を策定した史跡由義寺」とありますが、「史跡由義寺跡」の誤りだと思いますので、修正をお願いします。

田中部会長

表記については、確認をお願いします。また、既存の設定指標だけでは「めざす暮らしの姿」の達成度が評価できない、というのは施策9、施策14や施策15も同様です。指標の達成度に基づく一次評価は仕方のないものであり、我々の二次評価における指標についての問題意識は42ページに記載されています。そこで、提案になりますが、この(!)マークを残してはどうでしょうか。例えば各施策で(!)マークを残して、7ページの表の見方にマークの説明を追加し、さらに42ページの全般的提案事項の内容に各施策をカッコ書き等で紐づけます。そうすれば、このマークが後期基本計画に向けた課題であるとして、担当者も理解でき、読み取りやすいのではないのでしょうか。

和泉委員

ご提案に同意します。

(各委員、同意)

田中部会長

評価部会として考える課題であり、後期計画につなげてほしい内容であることがわかるよう、工夫をお願いします。

田上委員

高安千塚古墳では、先日プロジェクションマッピングが行われ、多くの参加者があり盛況でした。古墳の清掃ボランティア活動にも関わっていますが、その中でもかなりのごみが落ちています。今後検討すべき課題等において、ごみ投棄の問題についても追加いただきたいと思います。

田中部会長

今後検討すべき課題について、史跡保全の一環として、散策路等における環境問題が散見されるといった記載をお願いします。

《施策 7》

－意見なし－

《施策 8》

－意見なし－

《施策 9》

田中部会長

戦略部会に関連して、委員からご意見もありました。先ほど施策 6 にて確認したように、（！）マークを残しておくことになります。

《施策 10》

－意見なし－

《施策 11》

清水副部長

指標の達成率が 96%なら「◎」でよいと思いますが、二次評価としてのコメントが必要です。「前期基本計画の検証」において、例えば「総合評価については、部会において一定の達成度が確認できたため、「◎」とする。」とする等、評価が変更になった理由を記載することが必要だと思います。担当部局の評価としては、指標 3 が足を引っ張っているのかもしれませんが、1 つの指標をもって事業自体が悪かったという評価にすることはないと思います。

また、評価資料である施策総括書では、コロナ禍といった社会情勢に関する記載があり、全体的に理解がしやすくなっていました。前期期間ではコロナ禍により伸び悩んでいるといった記載内容について、個々の施策に記載する必要はありませんが、どこかにまとめて記載してもよいのではないのでしょうか。

田中部会長

各施策に社会情勢として記載すると文字が多くなるので、冒頭の「はじめに」や 1～2 ページあたりで記載してもよいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局

社会情勢の変化については、施策の総括や指標の分析等にてお示ししてきましたので、各施策でさらに記載することは考えておりません。ご提案いただきましたように、これまでの社会変化の大きなポイントのひとつとして、「はじめに」に記載することは可能だと思います。

田中部会長

「はじめに」でコロナ禍についてふれていますが、地域活動の制限だけに読み取れます。各施策の展開においても、コロナ禍が大きく影響したというトレンドについて記載を工夫してください。

その上で、部会における議論を踏まえ、施策2の記載とあわせて前期基本計画の検証に説明を追記するとともに、総合評価を「◎」に変更したいと思いますが、いかがでしょうか。
(各委員了承)

《施策12》

田中部会長

他の施策と比較すると、指標の達成率が81.6%で「○」という評価は気になりますが、このままの評価としたいと思います。

《施策13》

－意見なし－

《施策14》

田中部会長

この施策についても、(!)マークを残すこととします。

帯の「めざす暮らしの姿」のタイトルが消えています。他のページについても、確認の上で修正をお願いします。

《施策15》

田中部会長

こちらの施策も帯の「めざす暮らしの姿」のタイトルが消えています。修正をお願いします。

《施策16》

田中部会長

指標達成率が100%にもかかわらず、総合評価「○」はいかがでしょう。

清水副部長

担当課の説明では、指標 2 が右肩下がりで厳しい状況のため、決して「◎」とはいえないということでした。担当部局として現状に甘んじないという姿勢ですが、部会における二次評価としては、客観的にみると頑張っていることを評価し、応援をするという意味も含めて「◎」でよいと思います。この施策が「○」にすると、他の施策で評価を下げなければならぬというご意見が出てくるかもしれません。

田中部会長

他の施策で評価を変更した理由と同様です。二次評価として、総合評価を「◎」に変更すべきだと思います。なお、指標 2 の「経常収益対経常費用比率」は 100 を超えるとよくないので、令和 3 年から令和 5 年の推移では、107→105 となっています。総括の中で「収支バランスはかろうじて保たれている」と表現されていますが、市民にもわかるように補足してはいかがでしょうか。例えば、「収支のバランスなど経年でみると実績値が下がってきており、企業経営の健全性がかろうじて保たれている状態である（100 を切ると良くない）」というように分かりやすく記載してはどうでしょうか。その総括により、一次評価は「○」ですが、二次評価として実績や指標の達成率をみると「◎」とする、というように修正してください。

《施策 17》

清水副部長

率直に申し上げると、コロナ禍という事情はあるとしても指標 1 の実績値は低く、もっと頑張っていたきたい思います。コロナ禍における対応についての記載にもよりますが、数値に対しては今後の頑張りへの期待を込め、あえて「△」にしてはどうかと思います。

田中部会長

八尾市で生活を営む市民委員にとっても、特に防災は重要な施策であり、コロナ禍の影響を差し引いてもこの実績見込みでは十分でないと思われるべきでしょうか。

田上委員

そもそも計画値が高すぎたということはないのでしょうか。

田中部会長

計画値は校区の数であり、策定すべき数かと思います。

事務局

コロナ禍で活動が困難であったという事実がございます。また、現在進行中の地区が 19 地区あり、これらの計画が策定済みとなれば合計で 22 地区になります。

田中部会長

策定完了は年度をまたぐものであり、令和 5 年度末の実績としては、やはり地区防災計画策定地区数を重くみて、総合評価を「△」としたいと思います。

(各委員了承)

≪施策 18≫

－意見なし－

≪施策 19≫

－意見なし－

≪施策 20≫

清水副部長

「△」にするから悪いということではなく、6 ページの説明にある通り社会情勢による停滞で仕方ないものも「△」に含まれます。指標の達成率が 50%では「着実な成果を上げている」とは言い難いと思います。

田中部会長

部会でも指標の追加を検討するように、との意見があったと思います。指標が「健康危機管理訓練の実施回数」だけでは、めざす暮らしの姿の達成状況も読み取れません。課題の抽出も十分にできていないのではないかというご指摘もありました。(！) マークを追加するとともに、今後指標の追加を検討してほしいという課題提起を検証に追加したうえで二次評価を「△」とすれば、意図が伝わるのではないか。

(各委員了承)

≪施策 21≫

－意見なし－

≪施策 22≫

田中部会長

これまでの議論を踏まえ、総合評価は「◎」とすることでよいでしょうか。

(各委員了承)

《施策 23》

清水副部長

部会において、総括における「地域資源」が分かりにくいと指摘がありましたが、表現を修正してはいかがでしょうか。

事務局

市民にとって分かりにくいというご指摘につきましては、補足や修正を加えてまいります。なお、資料 2 に各部会におけるご意見と担当課の回答をお示ししておりますが、21 ページの No.121 が委員ご指摘に対する回答となっております。

《施策 24》

川野委員

指標 2 については、計画値を達成していないにも関わらず、年々計画値を上げています。計画値の設定はこれで良いのでしょうか。

田中部会長

行政としては恐らく令和 6 年度の 3.0 という数値が決まっており、計画値を上げざるを得ないのが実態ではないでしょうか。こうした状況を踏まえて、後期計画は見直しを図ることになるのではないのでしょうか。「前期基本計画の検証」にこの指摘を踏まえた一文の追加を検討してください。

事務局

計画値はまず長期的な視点で前期計画の期間にどこまでめざすかを定めています。単年度の実績で伸び悩んでいるから目標値を下げると、「お手盛りで目標を達成しているように見せている」といった誤解を招く可能性もあります。めざすゴールを設定したうえで、計画行政としては毎年指標を確認し、目標を達成できない場合には事業の見直しや投入する資源を増やすなどの対策をとっています。

後期計画の策定にあたっては、令和 10 年度を目標年次として、めざす値を再度検討し、改めて当審議会とも協議させていただきたいと考えています。

《施策 25》

田中部会長

これまでの議論の流れからすると、総合評価は「◎」でよいと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員了承)

≪施策 26≫

－意見なし－

≪施策 27≫

－意見なし－

≪施策 28≫

田中部会長

この項目も総合評価を「◎」とすることでよいでしょうか。

清水副部長

後期基本計画の策定に向けた提案の中で、施策指標については適切な指標について今一度議論が必要と記載されています。受講者数が八尾市の規模に対してこの値で良いのか、気になるところです。総合評価を「◎」にするが、指標の見直しが必要であるとして（！）マークをつける施策に相当するのではないのでしょうか。

田中部会長

ご指摘の通り、総合評価は「◎」とするが、（！）マークを追記するということで修正をお願いします。他施策とは変更事由が少し異なり、例えば「令和 5 年度実績見込から判断すると総合評価は「◎」だが、めざす暮らしの姿の達成状況を評価するための指標については工夫が必要である」といった表現でお願いします。

≪施策 29≫

－意見なし－

≪施策 30≫

田中部会長

指標の達成率が 97.1%だが、総合評価を「◎」にしづらいところがある。

清水副部長

総合評価は「◎」でもよいと思いますが、指標について「特に意見なし」が気になります。しかし、どのような指標が本当に望ましいのかは難しいところです。後期基本計画に向けて、例えば、町会加入世帯数が減少していますが、これを追いかけるとすると、町会に入っても例えばそれだけで良いのか、なってしまいます。もう少し実態を捉えるような指標があるとよいと思います。【その他】に記載がある通り、調査・研究の可能性の検討が必要だと思います。

田中部会長

「めざす暮らしの姿」2及び3の達成状況は、現在の指標だけでは拾いにくく感じます。既存の指標はアウトプットであり、取り組みによって地域がどのように持続可能になったのか、という測定が必要です。施策指標は「意見なし」ではなく、委員指摘事項を追記したうえで（！）マークをつけてもらおうと、後期計画の検討を進めやすくなると思います。前期基本計画の検証として、施策を横並びで比較すると総合評価は「◎」としても良いが、一次評価の通り「○」とし、その理由として施策指標について今後に向けた課題があるとする、わかりやすくなると思います。いかがでしょうか。

（各委員了承）

＜施策 31＞

－意見なし－

＜施策 32＞

－意見なし－

＜施策 33＞

田中部会長

指標の達成率 98.4%ですので、総合評価を「◎」に変更しても良いと思いますが、いかがでしょうか。

和田委員

全体として総合評価を「◎」にするのは良いと思いますが、この施策も（！）マークを追記する必要があります。指標3に関連して、PPP/PFIのあり方について議論になりました。計画値の設定について、再検討が必要と考えます。未利用施設と未利用地の件数についても、議論があったかと思います。

田中部会長

前期基本計画の検証において、今の指標は適切ではないという記載もありますので、（！）マークを追加すべきかと思います。加えて、前期基本計画の検証に記載されている項目を入れ替えて、まず1点目として二次評価を「◎」に変更するという、2点目として指標に対する課題があるため（！）マークを追加する、としてはいかがでしょうか。

（各委員了承）

田上委員

PPP や PFI、エシカルといった用語については、可能であればページ下部に簡単な注釈があるとわかりやすくなるのではないのでしょうか。

田中部会長

ご指摘を踏まえ、必要な項目について注釈の追加をお願いします。

《施策 34》

田中部会長

この施策も指標の達成度を見ると「◎」になります。他施策と同様、「◎」に変更し、前期基本計画の検証に変更事由を追記してください。

《評価の総括について》

田中部会長

34 施策について改めて確認させてもらいました。

続いて 42 ページの評価の総括についてご意見をいただきたいと思います。全般的提案事項として 4 つ挙げられています。追加すべき事項等、お気づきの点がありましたらご意見をお願いします。

川野委員

少し戻りますが、例えば施策 34 において、指標の達成率は令和 5 年度の実績見込で算定されていますが、令和 3 年度や令和 4 年度の実績値の達成率についても表示したうえで、令和 5 年度の実績見込と比較すると、推移がわかりやすいのではないのでしょうか。実績値が上がっていますが令和 5 年度の見込みは低下または現状維持となっています。達成率があると、変化などがわかりやすいと思うのですが。

田中部会長

議論に活用した評価資料である施策総括書の総括シートには各年度の達成率が記載されていましたが、今回のまとめではそれが載っていません。

事務局

総括シートには毎年度の達成率（％）を記載していましたが、中間報告書を作成するにあたってはできる限りページ内容をコンパクトにわかりやすくなるため、一旦削除したものです。ご意見を踏まえ、レイアウトの工夫ができないか検討いたします。各指標全てに達成率を記載すると、全体のボリュームが大きくなりますので平均値を使うなど、何らかの工夫を検討いたします。

清水副部長

評価資料である施策総括書が公開されるのでしょうか。公開されるのであれば、そちらをご覧くださいという案内を記載しておけばよいと思います。ページの中に情報が多すぎると、見づらい印象があるかもしれません。

事務局

中間報告書の巻末に資料編として、施策総括書も公開する予定です。今回の議論では直接テーマにならないということで割愛しておりますが、参考資料4として各施策の総括シートも見ていただける形となります。そちらに案内する方法についても検討したいと思います。

和田委員

42 ページの「全体的提案事項」の②～④は語尾が「必要です」、①だけが「期待されます」となっています。①も期待だけではなく、「必要です」ではないでしょうか。

田中部会長

ご指摘の通り、①についても他の項目と語尾を合わせてください。

《その他》

田中部会長

これまでの議論を踏まえ、折角の機会なので、ご感想も含めて皆さんから意見をいただきたいと思います。

宮本委員

議論は出尽くしたと感じており、特に追加することはありません。皆さんが指摘されていた表現の仕方等については、その通りだと思います。感想として、市民の意見を聞いていただいたことはとても良かったと思います。会議が始まるまで、どのような感じで進めていくのか分からず、準備不足になってしまった。どんな感じで進めるのかを、事前に教えていただけたらもっと良かったのではないのでしょうか。

田中部会長

ご指摘については我々も反省すべきところです。慣れた方法、ペースで進めてしまいがちです。初めて参加された方には戸惑いもあったと思います。各回の進め方についても、事前説明が必要だと思います。これまで非常に活発なご意見をいただきましたので、今後も引き続きよろしくお願いいたします。

田上委員

こんなにもボリュームがあるのかと驚きました。これらを実行するにはかなり人員も予算も必要ですが、重要性を鑑みプライオリティをつけていかなければいけないと思います。また、配布資料も多く、もっと簡単に分かりやすくしていただきたいと感じました。

田中部会長

全ての施策・事業が同じようにできるわけではありませんので、確かにメリハリは大切だと思います。やはり資料については、誰しも得手・不得手があって、私でもわかりにくい部分はありますので、行政には一層の工夫を期待します。

重田委員

会議に際しては、ねらいや主旨がわかるよう、軽くでよいので、事前に議論の内容を伝えてもらえると、より議論に参加しやすくなると思います。また、交通安全や学校との情報・意思疎通について述べた意見が、中間報告書に反映していただきうれしく感じています。

田中部会長

直接、声を聞く機会が限られるので、ご自身やお子様を通じての気づきは大切で、それを伝えてもらうひとつの機会になっていれば、十分に意味があったと思います。また、会議の進め方については今後改善していきたいと思います。

佐野委員

自分が知らないことが多く、戸惑いもありましたが、逆にここで知ることができ、良い機会にもなりました。例えば、水道の施策などは知らないことも多く、自分自身も責任を持つ大人として、頑張らなければいけないと思いました。

田中部会長

審議会が多様な方々に参加していただく機会になることで、学識者だけでは気づけない指摘を受け、また各委員で双方向のやりとりができたと思います。今後もこうした活動があれば、積極的に参加していただければと思います。

川野委員

思っていたよりも専門用語も多く、最初はわからないことも多くありました。それが、会議の中で「まち協」を知り、コミセンで初めてまち協のポスターに気づくことができ、八尾市のことを知る機会が多くなり、良かったと感じます。

普段は会社員として働く中で、例えば資料作成においても、パワーポイントを使ったり、矢印や図を使って文字を減らしたり、文字も箇条書きにしたりと、視覚に訴えるように気を

付けており、今回もグラフ化や数値化について提案させていただきました。色々な方がみられる資料ですので、まず視覚に訴える資料にすることで、分かりやすくなり、そこから内容入っていただき理解を深められると思います。

田中部会長

この場は我々にとっても双方向の学習の機会になりました。また、資料に関しても、ビジュアルやわかりやすさの大切さを改めて認識し、多くの市民が分かりやすいよう、事務局には今後さらに気をつけ、また勉強し、工夫していただきたいと思います。

和泉委員

私自身、学ぶところが多くありました。また、改めて指標の難しさを感じました。後期基本計画の策定にあたっても、さらに考え、学びの恩返しができればと思います。

和田委員

3回にわたり非常に密度の濃い議論ができたと思います。中間報告書についてもさらに深められる議論ができたと思います。今はデータの時代といわれ、ある部分目標を立てて進めることは重要ですが、指標あるいは数字ありきで物事が進む一方、その弊害もあると感じています。今日の議論のように、現実をみていくことも必要だと思います。我々の目で、市民が今生きている八尾市の中で起きていることをチェックする場は非常に重要であり、そうしたことを事務局から庁内全体に伝えてもらえればと思います。オンラインでの会議参加についても、リアルとあまり変わらない感じで議論ができたと感じています。

清水副部長

分かりやすさの大切さと、分かりやすく伝えることの重要性を感じました。市民委員の皆さんからは、多くの気づきをいただきました。本審議会に限らず、これからの議論においては、メンバーの多様性、特に市民委員から多くの意見をいただいたこと、そしてそれを分かりやすく発信することが大切だと改めて思いました。

4. 令和6年度のスケジュール

事務局

【資料3】「八尾市総合計画審議会 令和6年度スケジュール（案）」について説明

田中部会長

今年度の検証を踏まえて、いよいよ後期計画の策定に進むこととなりますが、スケジュール（案）について質問等がありますでしょうか。

－意見なし－

5. その他

事務局

本日はどうもありがとうございました。皆さんの会議についての感想をお聞きすると、総じてわかりにくさへのご指摘がありました。我々も真摯に受け止め、改善してまいります。

また、施策ごとの指標の内容や分母の違いについてもご指摘をいただきました。担当課では、数字では見えない、捉えられない部分についても努力し、それを踏まえて「◎」や「○」といった評価を行っています。そうしたやり方についてもご意見を踏まえ、改善を図りたいと思います。

その他細かな表現方法等につきましては、部会長と相談しながら進めたいと考えていますが、よろしいでしょうか。

(各委員了承)

山原政策企画部長

閉会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

部会長、副部会長をはじめ、委員の皆さまには、評価部会全4回にわたりまして、熱い議論をいただき、ありがとうございました。本日は事務局にて取りまとめた中間報告書(案)についてご審議をいただき、議論を踏まえて見直しを行うことで、より充実した報告書になると考えております。

特に全般的提案事項にあります通り、情報の発信や入手、機会づくりを充実させることは非常に重要だと考えております。市長も常々「折角の優れた取り組みも、伝わらなければやっていないのと同じだ」と申しております。市民の皆様に評価をいただくためには、まず、八尾市がどのようなまちをめざし、そのために何に取り組む、どのような成果があり、あるいは失敗があったのかを分かりやすく伝えることが大前提であると感じております。

今回試行実施いたしました市民委員の公募につきましても、今後、庁内全体で共有し、取り組みを広げてまいりたいと考えております。本日をもって今年度の審議会は終了となりますが、委員の皆様には、新年度におきましても引き続き、後期基本計画の策定に向けたご協力をお願い申し上げまして、簡単ではございますけれども閉会のご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

田中部会長

12月からこれまでにかけて、内容の詰まった良い議論ができたと思います。市民委員の皆さまからも非常に学びの多い視点を掲げていただきました。このプロセスを大切にして、このプロセスにおける学びを後期基本計画の展開の中で模索していただければ良いのではないのでしょうか。事務局にとっても非常に多くの宿題がありましたが、丁寧に対応いただき

たいと思います。指標についても様々な課題がありましたが、行政活動がより良くなるように熱心にご議論いただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして、八尾市総合計画審議会 第4回評価部会を閉会いたします。本日はありがとうございました。